

第 100 号
2020 年 (令和 2 年)
5 月

たけはら

市民と議会

<http://www.city.takehara.lg.jp/gikai/>

目次	特集……………	2
	予算特別委員会……	4
	採決の結果……………	6
	主な議案……………	8
	一般質問……………	10
	タネット放送・ 議会のうごき……	13

祝
100号

特集

竹原市議会の

あゆみ



▲第56号からカラー印刷になりました

… 傍聴の際には「自宅での検温・マスクの持参」をお願いします …

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、議会を傍聴される皆様には、議場への入場前に体温・体調等の申告をいただき、入場時にはマスクの着用、手指のアルコール消毒をお願いすることといたします。傍聴に来られる際には、あらかじめ自宅での検温と、マスクの持参をお願いいたします。

また、傍聴する際には、他の傍聴者と2メートル以上の間隔を空けて着席ください。感染拡大防止のため、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



特集

松本議員・道法議員・

井上議員が聞く

議会だより100号記念発行にあたり
OB会会長 天内茂樹さんに
インタビューしました。

当時は会派が 機能していた

Q 初当選当時の議会は

天内 まずは、議会だより100号おめでとございます。

初当選の時は、24人定数中、新人8人が当選して、収入役が新人議員を対象に財政の在り方など勉強会を開いてもらいました。

この頃は勉強会などしたりして結構会派が機能していましたよ。

新しい時代の

「議会だより」に



竹原市議会
OB会会長
天内 茂樹さん



II 議会のあゆみ II （平成6年～の抜粋）

- H 23
H 22
6 11 12
 - H 21
9
 - H 20
6
 - H 19
H 18
9 11 12
 - H 15
H 14
H 13
1 1 1 3
 - H 12
H 11
H 10
12 6 11
 - H 8
3
 - H 7
1 11
 - H 6
H 6
6 2
6 9 2
 - H 6
H 6
6 9 2
 - H 7
H 6
H 6
6 9 2
- 議員定数22人
阪神淡路大震災
神戸市大黒小学校へ
救援活動
- 竹原市行財政改革
調査特別委員会
（H10・11）
議員定数20人
6・29集中豪雨発生
合併問題等調査特別委員会設立
（H14・7）
芸予地震発生
議員定数18人
地方分権問題等調査
特別委員会設立（H18・6）
広域問題調査特別委員会設立（H16・6）
議員定数16人
竹原市議会議員政治倫理調査
特別委員会設立（H20・3）
竹原市議会議員政治倫理条例調査
特別委員会設立（H20・12）
竹原広域行政組合解散
竹原波方間自動車航送船組合解散
議員政治倫理条例制定
議員定数14人
タネット議会中継開始
- 議会だより編集委員会設置
タブロイド版「市民と議会」創刊



期待しています。

阪神淡路大震災の被災者救援が印象的

Q 議会活動の中で印象に残っていることは

天内 阪神淡路大震災が起こって、議員団として神戸市須磨区の大黒小学校へうどん2000食を持って、被災者救援に行ったことが印象に残っています。被災地はひどかったねえ。
他にも、合併問題やバンブー公園、仁賀ダムや下水道なんかも印象に残ってるけど。



その他としては、議会と三井金属や電発と交流があって、ソフトボール大会を開催していたし、豊田郡10町の議員とも議員研修をしたりして、交流がありましたよ。

議会だより発行はすべて議員が行っていた

Q 議会だより発行の経緯は

天内 当時、個人的には通信を発行していたが、議会として公開して市民に理解してもらうために、「議会だより」を発行しようということになって、発行のために大竹市や東広島市に行って研修させてもらいました。

でも、発行に賛否両論あったので、初めは名前も写真もない一般質問を掲載していました。

他市町と一番違う所は、議員自らが編集から印刷業者に投稿するまでのすべての工程を行っていたということですよ。

Q 今後議会に望みたい

天内 今後も、議会だよりを活用して、議会のうごきや市政のうごきを広報とは違う観点から市民にしっかり伝えていきたいです。

私たちも議会を応援していきますので、これからも頑張ってください。

H 24・3

庁舎問題調査
特別委員会設立
(H 26・11)

H 26・3
H 25・6

政務活動費を変更
ネットによる
議会中継開始
(録画)

H 27・9
H 29・7

公共施設ゾーン調査
特別委員会設立(H 30・11)
本会議主義から委員会主義に移行
竹原市議会災害支援
連絡会設置策定

H 30・3

議会だよりによる
アンケート調査

H 30・7
R 1・8

先進地視察(西宮市)
7月豪雨災害
高校生との
意見交換会開催

R 1・9

広報広聴委員会に
名称変更

R 2・2

タネット出演
(告知編)

4

タネット出演
(まとめ編)



(※青太文字は広報広聴委員会関係)

誇らし「竹原市。」の実現に向けて

令和2年度 当初予算可決！

シティープロモーション事業

Q：事業内容は。

A：竹原ファンクラブを設立し、関係人口の増につなげていく。
原付の当地ナンバープレート3種類600枚を作成交付する。



観光プロモーション事業

Q：事業内容は。

A：首都圏での産展等の開催や、大久野島や町並み等の市内周遊を促す旅行商品の造成販売等を行う。

Q：せとうち広島デスティネーションキャンペーンとの関係は。

A：令和2年秋に行う事業で、現在、商品を代理店に積極的に売り込んでいる。今後も瀬戸内各県市町と連携を図る。

Q：首都圏だけではなく近隣市町にも宣伝活動するべきでは。

A：広島県内でのイベントを利用してPRしていく。



事務事業

Q：斎場などの施設管理を、PPP等財政健全化につなげることを検討すべきでは。

A：他市町の事例を参考に検討する。

歳入

Q：歳入の増額方法は。

A：市所有の未利用地等の有効活用やネーミングライツ、駐車場の有料化、広告収入の取組を推進する。



令和2年一般会計予算

●賛成討論

この度の予算は、「元氣な竹原市」の実現に向けた事業が提案されており、事業展開により市が抱える課題に対し、着実に課題解決できる予算となっていると考えます。

執行にあたっては、一日でも早い災害からの復旧・復興に向けた取組を進められ、財政健全化計画の着実な実行により、全庁挙げて「元氣な竹原市」の実現に向け、「市民目線」に立って、確実に成果を出されることを期待して賛成します。

井上 美津子

●反対討論

「市民の安心・安全」のためにも、がけ崩れ人家1戸の被災者の防災工事支援を早急に検討すべきです。

新開土地区画整理事業の凍結・縮小、若者に夢と希望が持てる子育て支援の抜本的な拡充・強化と市の雇用確保、住宅リフォーム助成の改善・予算の大幅な拡充などが必要と考えます。

教育費は、子育て支援の抜本的な拡充・強化と教員の長時間労働の解消は緊急重要な課題です。

ごみ減量化の取り組みが本気で実行できていません。

市民サービスを支える市職員の勤務条件の改善が遅々として進んでいません。以上が主な反対理由です。

松本 進

将来都市像「元気と笑顔が織り成す暮らし

■予算特別委員会

委員長 堀越賢二 副委員長 井上美津子

令和2年度第1回定例会において、議長を除く13名で構成される予算特別委員会が設置されました。一般会計、特別会計、企業会計の当初予算9会計が付託され、合計5日間の審査を経て、3月11日全ての予算案を可決しました。

■委員長報告

この度の令和2年度予算を審査する過程においては、職員の人件費部分など「財政健全化計画」の目標値が未達であることから、令和2年度における財政健全化に対する実効性などに対し各委員から厳しい意見もありました。

将来世代への過度な負担を先送りすることは許されないことから、執行部におかれては、これらの委員からの意見を真摯に受け止め、魅力あるたけはらのまちづくりへの再構築に向け、職員一丸のもと「限られた財源において最大の効果」を求め続けることが重要だと考えることから、持続可能な財政構造の確立に向けた「財政健全化計画」の確実な遂行を強く望み委員長報告とします。

■主な質疑

公共土木施設災害復旧事業・農林水産施設災害復旧事業

Q：早期完了に向けての取組は。

A：工事入札には関係機関と連携しスピード感をもって対応する。

河川の浚渫など、河川整備工事は「緊急自然災害防止対策事業」を活用し、安心・安全なまちづくりを推進していく。



未来育成推進事業

Q：事業の取組は

A：Wi-Fi環境等の整備や中学生の海外交流などを実施し、世界とつながり、ふるさと「竹原」を広く発信する人材を育成したい。

コミュニティ・スクール導入事業

Q：事業の取組は

A：令和3年度までに、市内全小中学校・義務教育学校において「地域とともにある学校づくり」を実現するために導入し、地域と共に子供たちを育てたい。

地域おこし協力隊(2名)

Q：事業内容は。

A：1名は1次産業の割合が高い山村の活性化のために田万里町や仁賀町に配置し、もう1名は、郷土産業振興館における、新たな地域ブランドの開発と販路拡大のために配置する。専門性を持った人材を募っていききたい。



広島中央エコパーク整備事業

Q：ごみ処理費用やし尿処理費用が増大するのでは。

A：将来的な住民負担は避けられないが、緩和措置を講じていく。

Q：住民説明は。

A：令和3年度に供用開始になるため、時期を見て説明する。



議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	下垣内	今田	竹橋	山元	高重	堀越	川本	井上	大川	道法	宮原	吉田	宇野	松本	議決結果
議案第28号	竹原市手数料条例の一部を改正する条例案	通知カードが廃止されることに伴い、通知カード再交付手数料を廃止するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	○	○	原案可決
議案第29号	アヲハタ奨学金基金条例の一部を改正する条例案	事業実施に伴い、基金の額が変動するため、基金の額の表記を改めるもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第30号	特別職の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	市長、副市長、教育長の給料月額を減額措置について、令和3年3月31日まで延長するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第31号	竹原市漁港管理条例の一部を改正する条例案	模範漁港管理規程例の一部が改正されたことを踏まえ、漁港の占用等の許可期間を延長するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第32号	竹原市職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	行政職給料表の職務の級が7級である職員の給料月額を減額措置について、令和3年3月31日まで延長するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	×	×	×	原案可決
議案第33号	竹原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	放課後児童支援員の資格に係る経過措置が終了するため、支援員の資格要件を改めるもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	竹原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の一部を改正する条例案	竹原市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を改正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	竹原市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	竹原市職員の給与と改定に合わせ、会計年度任用職員の給料月額を改定するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第36号	令和元年度竹原市一般会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ6,693千円を減額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	令和元年度竹原市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ65,057千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第38号	令和元年度竹原市貸付資金特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ860千円を増額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第39号	令和元年度竹原市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ25,778千円を減額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第40号	令和元年度竹原市介護保険特別会計補正予算(第4号)	歳入歳出それぞれ34,614千円を増額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第41号	令和元年度竹原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ5,853千円を減額補正するもの	民生	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
発議2-1号	竹原市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の一部を改正する条例案	市議会議員の議員報酬の額を減額する特例措置について、令和3年3月31日まで延長するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
発議2-2号	竹原市議会政務活動費の特例に関する条例の一部を改正する条例案	市議会議員の政務活動費の額を減額する特例措置について、令和3年3月31日まで延長するもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
	閉会中継続審査(調査)について(2常任委員会)	竹原市議会会議規則第111条の規定により、常任委員会委員長より申し出があったので送付するもの		○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決

● 令和2年第1回臨時会 議案概要・採決結果

令和2年3月19日

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	下垣内	今田	竹橋	山元	高重	堀越	川本	井上	大川	道法	宮原	吉田	宇野	松本	議決結果
議案第42号	竹原市副市長の選任につき議会の同意を求めることについて	令和2年3月31日付けをもって田所一三 副市長が辞職するため、その後任として新谷昭夫氏を選任しようとするもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案同意
議案第43号	竹原市固定資産評価員の選任につき議会の同意を求めることについて	令和2年3月31日付けをもって田所一三 固定資産評価員が辞職するため、その後任として新谷昭夫氏を選任しようとするもの	省略	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案同意
議案第44号	令和元年度竹原市一般会計補正予算(第5号)	歳入歳出それぞれ50,000千円を増額補正するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決

● 令和2年第2回臨時会 議案概要・採決結果

令和2年3月26日

○は賛成 ×は反対

議案番号	議案名等	議案等の概要	付託委員会	下垣内	今田	竹橋	山元	高重	堀越	川本	井上	大川	道法	宮原	吉田	宇野	松本	議決結果
議案第45号	特別職の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	市長、副市長及び教育長の給料月額を減額する特例措置を、令和4年3月31日まで延長するもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	原案可決
議案第46号	竹原市職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	職員の給与について、令和2年4月1日から令和4年3月31日までの給料月額を減額する特例措置を行うもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	×	原案可決
議案第47号	竹原市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	平成27年4月実施の給与制度の総合的見直しに係る激変緩和のための経過措置の延長を行うもの	総務	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	原案可決

※「総務」は総務文教委員会 「民生」は民生産業委員会

議案…

1) 各奨学金基金条例の一部を改正する条例案

- **内 容**／従来の貸付型奨学金の運営に支障のない範囲で、未来の人材育成など新たな教育振興に資する事業の財源として、基金の一部を充当するというもの。
- **総務文教委員会での主な質疑**
 - ・ **質 疑**／条例改正で新しい事業を開始した場合、基金原資の減少はどのようになるか。
 - ・ **答 弁**／奨学金については、現在、ご寄付いただいた基金の原資が1億6千万円あるので、当面はその半分を、従来通りの貸付のための資金として運用する。残りの半分を、奨学金貸付制度利用者が、竹原市に帰郷し、一定期間以上、住んだ場合、その住んだ期間に応じて、償還額を免除する「条件付給付型貸付枠」を創設し運用する。
 - ・ **質 疑**／未来の人材育成推進事業の内容などは。
 - ・ **答 弁**／これまでの運用益を、グローバル化の進展に対応し、世界とつながり、ふるさと「たけはら」を広く発信できる人材を育成するために充当したい。



2) 給与の減額措置に関する議案

《第1回定例会》

■①特別職、部課長などの給与減額について

- **内 容**／市長等の特別職と職務7級の職員、つまり部課長等の給与減額を、1年間延長し、令和3年3月31日までとする。
- **総務文教委員会での主な質疑**
 - ・ **質 疑**／財政健全化計画の目標額の達成に対してどのように考えているか。
 - ・ **答 弁**／財政健全化については本年以上の取組が必要と考えており、議案では給料月額減額の対象が給料表の職務7級の職員であるが、他の職員の給料減額などについても、現在職員団体に提示している。

■②市議会議員の報酬と政務活動費の減額措置について、

- **内 容**／現在の減額内容を1年間延長し、令和3年3月31日までとする。
- **減額する内容**

《第2回臨時会》

- **内 容**／
 - ・ 市長等の特別職と、部課長等の減額期間を2年間に変更。
 - ・ 一般職の3級～6級の職員の減額。
- **総務文教委員会での主な質疑**
 - ・ **質 疑**／財政健全化計画の人員費削減の年間目標額1億円に達していないことについてどのように考えているか。
 - ・ **答 弁**／今後、ラスパイレス指数の改善など給与制度の抜本的な見直しを進める。

役 職 名	減額率	R2年度の効果額 (報酬・給与・共済費等)
市 長	15%	約 550 万円
副 市 長	12%	
教 育 長	10%	
職務7級の職員（部課長等）	8%	約 6,300 万円
職務5・6級の職員	5%	
職務3・4級の職員	3%	
市議会議員報酬	3%	約 266 万円
市議会議員政務活動費	50%	約 168 万円

討 論

●賛成討論

現在、本市は大変厳しい財政状況下にあります。本議案の可決により人件費を2年間に渡り削減出来るとともに、4月以降の行財政改革の端緒となり得ると考えます。よって、本議案に賛成致します。

山元 経穂

●反対討論

削減幅が大幅に増加しており、市職員の生活に重大な影響を与えると考えます。一昨年の豪雨災害の復旧、昨年の参議院選挙では、長時間の過密労働を強いられています。いま必要なことは給与削減ではなく、市職員の増員など市民サービスを拡充させる人事管理と考えます。不要不急な事業、無駄な事業の凍結縮小などを早期に実施すべきです。

松本 進

議案第46号

… 主な

議案第13号 ふれあいステーションただのうみの指定管理者の指定について

- 内 容／JR忠海駅横に位置する「ふれあいステーションただのうみ」の指定管理者について、3月末で指定管理の期間が満了するため、4月1日からの5年間、引き続き「特定 非営利活動法人 福祉ステーション ただのうみ」に指定するものです。

討
論

● 賛成討論

現在、地域に密着した管理運営で多くの方に利用され地域の活性化の一役を担っている。引き続き、特定非営利活動法人福祉ステーションただのうみが、地域に密着した福祉、生涯学習に関する事業を行うことで、今後においても地域活性化に寄与するものとする。

井上 美津子

● 反対討論

この施設は地域住民の福祉の増進に重要な施設ですが、2016年度・2017年度の経常収支は赤字です。指定管理料の大幅な増額と同時に、公的施設の管理運営は竹原市が直接責任をもつ必要があります。

松本 進

議案第19号 竹原市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

- 内 容／国民健康保険は、これまで市町村単位で運営してきましたが、「年齢構成が高く医療費水準が高い」など構造的な課題があることから、国民皆保険を将来にわたって守り続けるため、平成30年度から県と市町が役割分担の上、共同運営を行っております。それに伴いまして、令和2年度の本市の保険税率としては、広島県が示す標準保険料率を適用した上で、本市の国民健康保険の財政調整基金を使って、医療分の均等割額について、増額幅を抑えるような措置を講じたものとなっています。

● 民生産業委員会での主な質疑

- 質 疑／国保税の低所得者に対する軽減対象者の人数は。
- 答 弁／2割軽減は504世帯 5割軽減は629世帯 7割軽減は1,380世帯(推計値)

議案第22号 竹原市乳幼児等医療費支給条例の一部を改正する条例案

- 内 容／現在、0歳から小学生までの子どもたちに入院・通院の費用を助成していますが、入院費の助成について、7月1日から、満15歳に達する以後の最初の3月31日までに拡大するもの。

議案第36号 令和元年度竹原市一般会計補正予算(第4号)の主な内容

● 通信ネットワーク整備事業…2億7千万円

文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」の実現に向けた校内通信ネットワークの環境整備を行うための、設計委託料、施設整備工事、学校用備品等に要する経費。これから、設計・工事・備品調達の入札が行われて、令和2年度のうちに完了予定。

議案第44号 令和元年度竹原市一般会計補正予算(第5号)の主な内容

● 地域経済循環創造事業…5千万円

国の交付金5千万円を活用して、農業振興として栽培したぶどうを使い、特産品としての竹原キャンベルワインの醸造、また、観光交流拠点の整備として、町並み保存地区の古民家を利用したワイン販売店を整備するというもの。

総務文教委員会では将来の企業誘致としても期待するとの意見がありました。



たかしげ ようすけ
高重 洋介

●庁舎移転について
●財政健全化について



質問 当初の計画から9年、老朽化は進む一方です。移転に向けて早い段階での決断が必要と考えるが。

答弁 市長 公共施設ゾーン整備については豪雨災害の発生以後その着手を見送っています。重要な政策課題であると認識しております。

建築から50年以上が経過し、耐震性能の不足とともに空調や給排水機能にも不調をきたしていることも踏まえ、庁舎移転に向け実現可能なビジョンを早期にお示ししたいと考えております。

質問 財政難を理由に市民の皆様へ不便を強いるなか、本市の正規職員で「他市に居住」している方も少なくないと聞いています。本来竹原市の職員は竹原市に居住すべきであり、今後その規定を定める必要があるのではないかと。これは災害時の緊急対応においても大変重要なことであります。

現在の市外からの職員の人数と住民税の金額をお聞きします。また職員採用試験の際には市内に居住することと書かれています。

仮に市内に居住しない場合どのような対応をされているのか。

福山市には職員服務規定として「職員は、市内に居住することを要する。ただし、特に市長の許可を得た者はこの限りではない」とあります。ぜひ竹原市でも検討するべきと考えますが。

答弁 市長 市外から通勤している正規職員は、現在53名、これらの職員が納めている住民税の合計は約1,000万円です。

平成23年の職員採用試験から「採用後、原則として竹原市に居住する者であること」を募集要件のひとつとしておりますが、やむを得ず家庭の事情等により申し出のあったものについては市外居住を認めております。

市職員は行政サービスの担い手として、平常時はもとより災害時の緊急対応といった面からも、市内に居住することが望ましいものと考えております。

ご指摘を踏まえて職員の服務規程など他自治体の事例について研究してまいります。



いまだ よしお
今田 佳男

●自治会の活性化について
●「たけのここども園」について
●U・I・Jターンの促進について



質問 自治会役員の負担を軽減するなど、自治会の活性化を検討すべきではないか。

答弁 市長 地域に対する無関心層の増加や高齢化に伴う担い手不足などにより、地域による活動状況の格差参加者の固定化、自治会の加入率の低下などの課題があります。

他市町においては、リーフレット等の作成配布などの取組事例もあります。

こうした事例を参考に、今後も自治会の加入促進のための取組を行ってまいります。

質問 保育所と幼稚園とが統合されることで、人員の配置、カリキュラムなどに不安を持つ保護者もおられるのではないかと。対応はされているか。

答弁 市長 幼稚園と保育所のそれぞれの良いところを活かせるよう、教育・保育目標などを含んだ計画等の策定や人員配置などについて取組を進めており、園児募集や副食費等の決定した事項については、順次、保護者説明を行っているところであります。

保護者の不安を軽減するために、先月、アンケート調査を実施し、現在の調査結果に対応するための協議も行っております。

質問 移住には、住居や仕事を探すことが大きな負担となっている。移住を検討する人たちに、移住しやすい環境を整える考えはないか。

答弁 市長 住居の確保や仕事の斡旋などについては、本市への移住定住を促進するうえで必要な支援と考えており、今後においても、広島県などの関係機関等と連携する中で、様々な機会を捉え本市のPRに努めるとともに、移住希望者の受入につながる効果的な施策に取り組んでまいります。





まつもと 松本

すすむ 進

●在宅障害者デイ・サービスセンターの廃止と「竹原市財政健全化」について
●竹原市民の水道水源を守る行政姿勢について



【質問】①本郷産廃場問題に伴って、広島県にどのような内容の意見書を提出されたのか。

②市環境基本条例の理念は、広島県への意見書には、本郷産廃場建設と災害リスクの除去に伴う市の責務をどの様に明記されているか。
③広島県用水事業への統合は明確に拒否すべきと考えますが、市長の認識は。

【答弁】市長 ①センターは昭和63年に障害者の福祉向上のため設置しました。その後障害者福祉制度は大きく変わり、市が運営する必要性は薄れてきていると認識しています。
②年間市費の削減効果は400万円です。
③廃止後においても、民間の質の高い指定障害福祉サービス事業所の利用により、利用者負担が変わることなく障害特性に応じた支援を安定的に受けることができます。

【質問】①広島県への意見書は、「地元住民との協議の場を確保し、信頼の醸成に努める」「自然災害による被害防止対策を徹底させる」よう指導することなどを求めています。
②市環境基本条例は、環境保全に関する基本的な理念や方針を定めたもので、個別具体的規制のための条例ではありません。
③意見書は、事業者への被害防止対策の徹底などを求めています。本市の責務を述べるものではないと認識しております。
④本市水道事業は、令和2年度中に事業統合に係る方針を決定してまいります。



たけはし 竹橋

かずひこ 和彦

●全国学力・学習状況調査及び新学習指導要領について



【質問】昨年4月実施の全国学力テストの分析・検証について

【答弁】教育長 市全体の数値についての分析を、更に学校ごとに詳細な深堀を行い、それを基に改善計画を作成し、指導の改善に取り組んでおり、短いスパンで検証を行いながら成果を確認し、指導等の改善・充実につなげてまいります。

【質問】子供に必要な課題解決能力などの育成と新学習指導要領の実施について

【答弁】教育長 学習指導要領の改訂によって身に付けさせたい「思考力・判断力・表現力等」が明確化されていますが、これによって毎時間の授業では「何を考え判断させるか」「どのように表現させるか」を意識した組立が求められるようになり

【質問】子供に必要な課題解決能力などの育成と新学習指導要領の実施について

【答弁】教育長 今年4月から本格実施が始まるコミュニケーション・スクールの制度を充実させ、地域全体で竹原市の子供たちを育成していく環境を整えてまいります。さらには、授業の改善を進めるとともに、教育活動全体の充実を図り、これからの社会に必要な力を持った子供たちを確実に育成してまいります。

また、表現力は、人との関わり合いを通して育成される面もあることから新学習指導要領における先行的取組事項として、ペア学習やグループ学習など「対話的な学び」の学習形態を取り入れる授業を実施しているところでもあります。

このような対話的な活動は、自分の考えを明確にしたり、人の意見を聞いて考えをさらに深めることにつながるから思考力や判断力の育成にもつながるものと考えております。

これに合わせて、地域の文化、伝統、人材等もしっかりと活かしていくことも重要であり、社会に開かれた教育課程の実現が必要であると考えております。



かわもと
川本まどか
円

●財政健全化計画について



質問 第一期総合戦略の検証内容とそこから見えてきた課題・問題は何か。

答弁 市長 平成30年度末時点における目標達成状況は、全体で52・9%となっており、結婚・妊娠・子育てに関する切れ目ない支援、商工業の振興や住環境の充実などの項目において、施策効果を発現していると考えております。

一方、「ひとの創生」の基本目標である「転出超過数」については、転出者数がほぼ横ばいの状況にあるのに対して転入者数は減少傾向にあり、人口の社会減を緩和することが大きな課題であると考えております。

質問 実施中の「財政健全化計画」は人口減少に似合ったものですか、また状況により計画の変更や見直しはありますか。

答弁 市長 人口減少や少子高齢化に伴う税収・交付税の減少、さらには社会保障関連経費や老朽化が進む公共施設への対応経費の増加などにより、歳入への影響が懸念され、財政運営は更に厳しくなることも想定され、計画に基づく取組を進

めておりますが、社会経済情勢の変化や新たな行政需要などを考慮しながら、必要に応じ、見直しを行います。

質問 竹原市立地適正化計画「コンパクトシティの構想」は将来に向けて集約型都市構造へ誘導するところですが、総合戦略や財政健全化計画などを実行する上で、整合性が取れていない部分が生じていると思われませんが、見解を伺います。

答弁 市長 今現在において、計画上の齟齬があるものもありませんし、今後齟齬が生じているものも出てくるだろうと思えます。

ご指摘頂いた現在までの各項目において定める計画との整合性については、事業進捗に合わせて様々なさういう整合を図りながら、賑わいのある竹原市の元気なまちづくりを最優先の課題として取り組んでまいりたいと思えます。

の
宇野たけのり
武則●市長の政治姿勢について
●県道竹原吉名線について
●駐車場問題について

質問 市長選前に発表された諸施策の重点項目として「魅力の発信」があるが、市長就任2年余が経過した今日、どのように評価されているのか。

答弁 市長 魅力の発信については、積極的なSNSの活用、プレスリリースによる情報発信の強化を図っており、テレビや新聞などによる発信量も増加しております。

質問 かんぼの宿の豪雨災害からの復旧工事は県事業としての遅れは明らか。かんぼの宿再開にどのように対応するのか。

答弁 市長 かんぼセンターの裏の治山事業につきましては、業者が決まりました5月から着工すると聞いています。

広島県と十分に連携をとって災害復旧に全力で取り組んでいきたいと考えております。

質問 仁賀ダム建設は昭和30年代予備調査。昭和61年小坂隆市長就任まで進展なく、中電電島火力発電中止に伴う補償問題も同様。小坂隆元市長は両案件を約1年で解決している。市長の

ご感想は。

答弁 市長 これら二つの事案とも本市と交渉相手間で妥協点が見いだせず、交渉が難航していたが、小坂隆元市長のリーダーシップにより解決に至った。

トップリーダーの強い指導力、行動力が不可欠と考えます。

質問 県道竹原吉名線建設については県道であっても主に竹原市民が使用するもの。市が積極的に働きかけるべきと助言をいただいている。市長の決意は。

答弁 市長 県道竹原吉名線は国道185号線の代替ルートとして、災害などにより通行止めとなった際には、緊急物資輸送などの重要な路線と認識しています。今後未整備区間の整備については県に積極的に要望してまいります。

質問 中四国フェリー駐車場跡地、北崎市宮住宅の駐車場有料化は早期実施すべきと思うが。

答弁 市長 早い時期に実現を目指して関係者と調整して、有料化に向け取り組んでまいります。

タネット「議会だより」のコーナー放送開始

昨年、議会だより編集委員会から移行した広報広聴委員会は、議会の広報活動、広聴活動も協議することとなりました。そうしたなか、タネットから議長に出演のお話があり、本委員会で具体的な取組を検討し、タネットと協議した結果、「議会だより」のコーナーで、定例会前に提案された議案の内容の説明、定例会後に議会での審議の状況を報告することとしました。



… タネットさんからのコメント …

平成23年4月にタネットは開局しました。以来、竹原市議会の本会議をタネットでは生中継をしてきました。昼間に視聴できない人からは、いつ再放送をするのかとの問い合わせもあり、市民の皆様の関心は高いと思います。

竹原市が置かれている現状は、厳しい財政状況の克服と同時に次世代につながる希望の持てるまちづくり等、取り組まなければならない課題は山積しています。市議会は、市民の意思を反映し、条例の制定や改廃、市の予算・決算など議決を通して市政を推進させていく重要な役割を担っています。タネットでは市議会に対して、竹原市から出された議案の中で特に市民の皆様に直結する案件を議員自ら分かりやすく説明して欲しいと要望したところ、この度、第一回（2月13日放送）第二回（4月2日放送）と実現していただきました。

今後も市議会の皆様ともよく相談し、分かりやすい市議会中継を心がけていきます。



議 会 の う ご き

- | | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1月28日 民生産業委員会 | 2月26日 本会議 一般質問（～27日） |
| 1月31日 広島県市議会議長会東部ブロック
議員研修会 | 3月 2日 予算特別委員会（～5日） |
| 2月 4日 総務文教委員会 | 3月 3日 議会運営委員会（会期中） |
| 2月 6日 代表者会議 | 3月 9日 予算特別委員会（10日） |
| 2月12日 議会運営委員会
神奈川県秦野市議会 来市 | 3月11日 議会運営委員会（会期中） |
| 2月14日 広島県市町総合事務組合議会定例会 | 3月18日 議会運営委員会 |
| 2月18日 第1回定例議会（～3月11日）
予算特別委員会 | 3月19日 第1回臨時議会
総務文教委員会 |
| 2月20日 総務文教委員会 | 3月20日 広島中央環境衛生組合議会定例会 |
| 2月21日 民生産業委員会 | 3月25日 議会運営委員会 |
| 2月25日 議会運営委員会（会期中） | 3月26日 第2回臨時議会 |
| | 3月26日 代表者会議 |
| | 4月 9日 代表者会議 |

※この間、広報広聴委員会は8回開催しました。

特集

竹原市議会のあゆみ



インタビューを終えて

「議会だよりも1000号、いや〜すごいねえ」と笑顔で取材に応じてくれたOB会長の天内さん。いまでは考えられないけど発刊そのものを否定したり、一般質問も顔や名前を出すことに売名行為になるからと反対する人もいた。

他市へ勉強に行つて、まとものも大変だったけど議事録を見ながら作業は委員がすべて行つた。その流れが継続して100号の意味は大きい。伝える作業の難しさを感じながら、もっと議会活動の情報をお皆さんにお伝えして開かれた議会を目指したい。

道法 知江



お知らせ

くわしくは会議録で…

掲載されている一般質問や答弁は、要約したものです。本会議の内容をくわしく知りたい方は会議録でわかります。市の議会事務局と竹原書院図書館に備えてありますので、ご利用下さい。また、市のホームページにも掲載しています。

YouTube JP

竹原市議会

検索



次回定例市議会は、6月中旬からの予定です。みなさん、市議会を傍聴しましょう。

編集後記

新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛が続く昨今、夜空を仰ぐこともありませんでした。先日、いつもより満月が大きく見える「スーパームーン」を見ました。オリンピック開催の延期やイベントの中止など暗いニュースが多い中、音もなく近づいているコロナの恐怖で戦々恐々としている気持ちを満月の神秘的な光がほっこり癒してくれました。癒しは、生活や心に余裕を与えると思いますが今はなかなか難しいですね。

井上 美津子

「広報広聴委員」○委員長○副委員長

○井上美津子 ○今田 佳男

下垣内和春 堀越 賢二

道法 知江 松本 進